

外来化学療法 投与計画書

腫瘍内科 セツキシマブ(維持)+mFOLFOX6(トレフューザーポンプ)療法

29-038

ID	:	身長	:	cm	アービタックス(起炎症性)	250mg/m ²				
フリガナ	:	体重	:	kg	レボホリナート	200mg/m ²				
患者氏名	:	体表面積	:	m ²	オキサリプラチン(炎症性)	85mg/m ²				
		クレアチニン	:	mg/dL	フルオロウラシル(bolus)(炎症性)	400mg/m ²				
生年月日	: S・H・R	年	月	日生まれ	フルオロウラシル(持続)(炎症性)	2400mg/m ²				
治療計画	外来初回治療日	年	月	日より	コース目	day	開始	予定コース数	評価コース数	薬剤師1次監査 年 月 日 薬剤師 2次監査
外来担当医:	PHS	記載医師	PHS							
Rp	投与スケジュール: 1コース14日間		day1	day8						
1本目	主管 皮下ポート点滴注射	アロキシ(0.75)	0.75mg		●	×				
		ボラミン(5)	5mg							
		デカドロン(6.6)	6.6mg							
		生食	100mL							
投与時間			30分							
2本目	主管 皮下ポート点滴注射	アービタックス	_____mg		●	×				
		生食	250mL							
投与時間			1時間							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
3本目	主管 皮下ポート点滴注射	生食	100mL							
投与時間			1時間							
4本目	主管 皮下ポート点滴注射	側管 皮下ポート点滴注射			●	×				
		オキサリプラチン	_____mg							
		5%ブドウ糖液	250mL							
投与時間			2時間							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
5本目	主管 皮下ポート点滴注射				●	×				
		フルオロウラシル	_____mg							
		5%ブドウ糖液	100mL							
投与時間			全開							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
6本目	主管 皮下ポート点滴注射				●	×				
		フルオロウラシル	_____mg							
		生食	140mL							
投与時間			46時間							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
			<患者退室時の確認事項>							
			<input type="checkbox"/> 固定、クランプ開放の確認							
			<input type="checkbox"/> 抜針セットを渡す							
			<input type="checkbox"/> 5Fuの終了時間を記入							

1本目	主管 皮下ポート点滴注射				×	●				
		ボラミン(5)	5mg							
		デカドロン(6.6)	6.6mg							
		生食	100mL							
投与時間			30分							
2本目	主管 皮下ポート点滴注射				×	●				
		アービタックス	_____mg							
		生食	250mL							
投与時間			1時間							
			(____年__月__日__%doseへ減量)							
3本目	主管 皮下ポート点滴注射				×	●				
		生食	100mL							
投与時間			1時間							

1. その他連絡事項

2020年10月トレフューザーポンプ、皮下ポートに変更
 2017年3月 エルプラット→オキサリプラチンへ変更
 5Fu→フルオロウラシルへ変更
 2016年11月 レイアウト変更
 2016年6月 名称変更
 2014年12月 グラニセロン→アロキシ
 2013年2月 レジメ番号変更
 2011年4月6日作成